

分散登校日のねらい

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い全国に発令している緊急事態宣言は、期限だった6日から31日まで延長することが決定されました。これを受け、南相馬市でも引き続き当面の間臨時休校となります。

私は4月1日付で本校に着任しましたが、通常通りの学校活動を再開することが叶わず、まだ、子ども達全員が張り切って運動したり学習に取り組んだりする姿を見ていません。早く、校舎内外が子どもたちの元気な声で満たされる日が訪れることを、今か今かと待ち焦がれているところでございます。

さて、メールやホームページでお知らせしました通り、12日より分散登校が開始されます。お子さんの登校日や具体的内容につきましてはそちらでご確認いただきたくお願いいたします。臨時休校中ですので制限のある学習活動にならざるを得ませんが、子どもたちにとっても教員にとっても大変貴重な1日となります。より効果的な活動が展開できるよう分散登校日における学習のねらいを以下に示します。子どもたちの学力保障のため、ご家庭のご協力を更に頂戴しながらこの難局を乗り切りたいと考えております。



(1) 一人一人への指導・支援の徹底及び学習態度の育成

- 1～4年生はクラスを2グループに分け、グループの登校日を別に設定します。原則、担任による指導になりますが、少人数のグループにすることで、個に応じた指導支援の徹底及び学習態度の育成を図ります。
- 5・6年生は学級ごとに登校日を設定します。当日はクラスを4グループに分け、4名の教員による教科別の学習を行います。教科担任的な学習形態をとることで、短時間でも質の高い学習を行うことができるよう努めます。

(2) 自己マネジメント力の育成

- 自分で家庭学習を計画・実施・確かめ・見直すことのできる力（自己マネジメント力）を育成するため、学習内容や方法、時間、ノートの使い方などの指導に重点を置き、見通しをもって家庭学習に取り組めるようにします。
- このような力を身に付させるためには、学校だけでなく家庭での習慣づくりが大切です。早寝・早起きやお手伝いの習慣づくり、テレビを見たりやゲームをしたりするときのルールづくりなどにご配慮お願いいたします。

※ 留意点

少人数で学習を進めることにより、3密を避け、感染予防に努めます。

塞翁が馬

塞翁が馬（さいおうがうま）という諺があります。「何か禍福に転じるかわからない」という意味で使われます。このパンデミックは厄災そのものですが、そのような時こそ禍を福に転じる発想が大切なのではないかと思います。集団での学習ができない状況であっても、自己マネジメント力が更に身につけば、受け身ではない「真の学び」ができるはずです。学びの場は学校だけではありません。自ら進んで調べよう・考えよう・わかるように努力しようという意識を高めれば、将来大きなプラスの成果として子どもたちに返ってくるものと信じています。そのために、我々教員ができることは何か、共同歩調で探求してまいります。